

日泰寺の「弘法さん」と覚王山商店街

名古屋市千種区の覚王山に日泰寺という大きなお寺がある。ここは日本で唯一、釈迦の遺骨を安置しているといわれ、毎月 21 日は「弘法さん」と呼ばれる縁日があり、お年寄りを中心に大勢の参拝者が訪れる。写真は昨年 12 月 21 日の「弘法さん」に行った時に撮ったものである。暮れの縁日で天候にも恵まれたこともあり、とにかく凄い人出であった。境内と参道の両側には多くの店が並び、熱気で寒さも忘れるほどであった。

覚王山は日泰寺とともに、まちづくりや商店街でも注目されている。覚王山が元気な商店街に変身を始めたのは 90 年代後半からだ。商店街振興組合の若手有志たちが 97 年、「街づくり委員会」を結成して活性化に乗り出した。日泰寺の特色を生かして「エスニックを商店街のコンセプトに」して、斬新なマップを作成したり個性的な店舗を誘致したりして、全国的にも注目される商店街に変身していったのである。

以前、社会調査実習の商店街で覚王山をとりあげたことがある。調査報告会を「街づくり委員会」のメンバーの人たちに行ったが、商店街はその後さらに変身をとげているようだ。

昨年 4 月、築 40 年の古アパートを改装して、「覚王山アパート」が誕生した。ここに 6 組の若手作家が入居して、工房兼店舗を構える。狭い店舗には針金細工や万華鏡、絵本などの作品が並び、若者たちで賑わっている。いわゆる空き店舗対策だが、まちづくりの実績から覚王山らしさを生かしたものだ。

無国籍風の「エスニック商店街」という新しいイメージも定着して、お年寄りだけでなく若者たちが散策する商店街となった。



(2004 年 1 月 2 日 記)